

情報を分析し、論述する力につながる生活科での言語活動のあり方
第1学年「あきをさがそう ～しぜんのいろどりべんとうをつくろう～」

小城支部 晴田小学校 教諭 知北絵里子

1 単元計画

【単元目標】

○秋の自然を使ったお弁当（万華鏡）作りを通して、秋の自然に親しみ、自然の彩りの多様さに気づいたり、季節の特徴を色という側面で捉えたりしながら、自然の面白さや不思議さを感じることができる。


【単元の流れ】

時	主な学習活動	教師の手立て
1	あきといえば？	・生き物・落ち葉・木の実など、様々な観点から身の回りの秋を見つけさせる。
2	おべんとうのざいりょうをあつめよう	・お弁当箱に集める材料（落ち葉や木の実など）の色折り紙を選ばせ、実際に校庭へ材料探しに行かせる。
(家庭)		・登下校中や家族で公園に行った際にもお弁当の材料となるような、木の実や落ち葉を見つけさせる。
3 (本時)	きづいたことをつたえよう	・お弁当箱の中に入っている落ち葉や木の実などの色から、秋にたくさんある色や、自然の中であまりない色、季節の変化によって自然の色が移り変わっていることに気づかせる。
4	おべんとうをつくろう	・お弁当箱に集めた材料を使って、秋のいろどり弁当（万華鏡）を作らせる。
5	いろどりべんとうはっぴょうかいをしよう	・作ったお弁当（万華鏡）を見て、秋の自然に親しませる。

2 本時の目標

・秋にたくさんある色や、自然の中であまりない色があることに気づき、自分の言葉で表現し、伝えることができる。（身近な環境や自分自身についての気づき）

3 授業の実際

児童の学習活動や主な反応	具体的な指導（○）評価（◆）
1 本時のめあてを確認する。 ・茶色のお部屋は、入らないぐらいいっぱいになったよ。 ・水色のお部屋は空っぽだった…。	○ 拾ってきた葉っぱや木の実などから、お弁当箱がいっぱいになった部屋や、空っぽの部屋があることに気づかせ、本時のめあてを確認させる。
あきには どんな いろが たくさん あるか かんがえよう。	
2 拾ってきたお弁当箱の中身に、何が入っているのかをワークシートに書く。	○ それぞれの部屋に、拾ってきたものを書かせることにより、秋にはどんな色のものがたくさんあるのかに気づかせる。 【情報を分析する力】 ○ グループで話し合いながら、拾ってきたものを確認させる。
	

3 みんなが拾ってきたものを交流し、秋にはどの色がたくさんあるのかを考える。

あかの はっぱが たくさん あるみた だね。



でも みどりも きのみや はっぱが いっぱいだよ。

- ・水色は、なにもありませんでした。
- ・黄色は、葉っぱとどんぐりといちようがあつまりました。

4 気づいたことや感じたことをワークシートに書く。(――彩りの多様性、一秋の色の傾向性)

あか いろいろな木の葉のみが
いっぱいありました。あか
いっぱいありました。でもみ
いろとあおはあんまりありま
せんでした。

あか 色々な色はいろいろ
かいてそのなかでちい
ろか"おおいになりました
またさがしてみたい
す。

あかの葉っぱはたくさんありました。
あかみどりはたくさんありました。
あかみどりはたくさんありました。
あかみどりはたくさんありました。
あかみどりはたくさんありました。

○ 各班を回って交流したり、拾ってきたものを全体で発表させたりすることで、自分たちの班だけでなく、他の班でもたくさん集まった色と、少ししか集まっていない色が同じ事に気づかせ、秋にたくさんある色を考える際の根拠とさせる。【情報を分析する力】



○ 板書や友だちの発表を基に、気づきや感想を書かせることで、自然の彩りの多様性や色の特徴に気づかせる。【論述する力】

◆ 秋の色の特徴や自然の彩りの多様性に気づき、表現することができる。

5 みんなの気づきから、秋にはどんな色がよくあるのかをまとめる。

あきには ちやいろ きいろ あか オレンジ などの いろが おおい。
木のみ には いろいろな いろが ある。あおやみずいろは あまりない。

○ 何人かの児童に発表させ、秋に多い色を子ども達の言葉からまとめる。

6 次時へつなげる。

- ・何をつくるのかな。
- ・早く、お弁当を完成させたいな。

○ 次時では、集めてきた材料を使って実際にお弁当を調理することを伝え、次時への意欲を持たせる。



4 考察(成果○と課題●)

- 班での活動を多く入れることで、自然と話し合いが進み、一人では考えることが難しい児童も進んで学習に取り組むことが出来ていた。
- 子ども達がいつも当たり前のように見ている植物に、「色」という視点を入れることで、「ちやいろの葉っぱが落ちていたよ」や「赤い木の葉があった」と普段の生活の中でも「色」を意識して植物を見ることができていた。
- 拾ってきたものを基に、秋にたくさんある色とあまりない色を話し合わせることで、「情報を分析し、論述する力」につながる学習が出来た。このような経験を今後の生活科の中でも培っていきたい。
- 今回はお弁当箱を4つの部屋に分けて、各班4色の秋あつめに取り組んだが、4色では情報が少なく、班の中での結論づけが難しかった。各班6~8色を集めさせ、たくさんの情報の中から、班でも結論を導きだせればよかった。



● 色という側面(視覚)でなく、触感で秋の自然を楽しんでいる児童もいた。色で捉えるという視点で考えることが出来なかった児童もいたことから、今後、冬になった際に、秋に多かった色を思い出させながら、色に変化している点もおさえない。